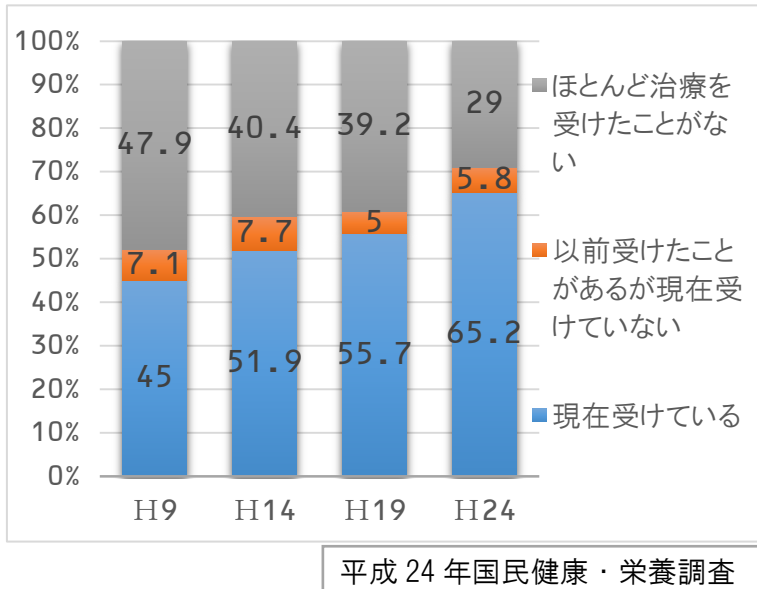




糖尿病は内科・眼科を受診し続けることが身体を守るために大切です

糖尿病の治療状況の変化



左記のグラフからも治療を受けられる方が増えたことがわかります。しかし、日本の糖尿病患者数は 950 万人とされており、**未治療 330 万人、治療中断 51 万人**と、実数で見ると未治療・治療中断の多さに圧倒されます。

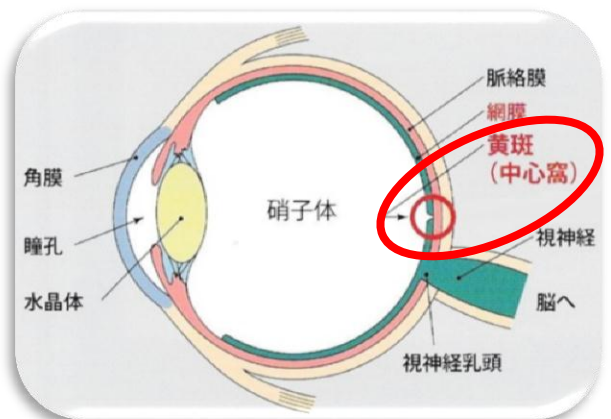
受診・治療できていない期間があることで早期の対応ができず合併症に繋がりがやすいため、**受診を続けることが合併症進行予防の第一歩**です。

*糖尿病と眼

血糖値の高い血液がめぐっているため、血管がダメージを受けやすく、**血管に関連した合併症が多いのが糖尿病**です。

目の奥には無数の毛細血管が存在します。閉塞や狭窄は細い血管に、より起こりやすいのはイメージしやすいのではないのでしょうか。

黄斑という、ものを見ている部分に障害がなければ、周囲がいくら障害を受けていても見え方には影響がありません。血糖値が体調ではわかりにくいように、糖尿病による目の合併症も「見え方」という自覚症状ではわかりにくいという特徴があるため、症状に頼らない眼科での検査が重要です。



眼科を受診しましょう

眼科では、眼底の状態を隅々まで確認できるよう、瞳孔を開く点眼を行って検査（眼底検査）をします。定期的な眼科受診による眼底検査で、合併症がないこと・進行していないことの確認や、障害の早期発見による早期治療が可能となります。

障害が発見された時には、障害をなかったことにする（治す）ことは非常に難しく、症状の軽快や進行予防のための治療となることが多く、早期発見が失明や視力低下を防ぐために非常に大切です。